日本の学童ほいく 普及拡大ニュース
全国学童保育連絡協議会
みんなで読もう！ 目標 3万6000部
2022年9月26日

子どもを学童保育に通わせる保護者と、子どもたちといっしょに毎日過ごしている指導員が書き手となり、働きながらの子育てを応援し、学童保育の充実の願いをこめてつくられている月刊誌です。みんなで読んで、語って、楽しみながら、よりよい学童保育をつくっていきましょう。

元気が出るみんなの取り組みをご紹介

楽しく普及拡大

ほいく誌は、仲間たちの思いも経験もたくさん詰まった学びの場だね！

福岡県の取り組み

組織拡大とほいく誌購読をセットで取り組もう！

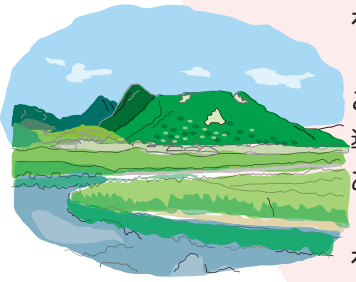
県内の２つの市町村の学童保育の運営者が2022年４月から民間企業に変わり、約90部の購読が中止になることを、役員会で報告しました。役員から「財政的にも厳しくなるよね」と意見が出た一方、「まだ、周りには購読していない学童もあるから、伸びしろはあるよね」と話しあい、購読を訴えるだけではなく、ほいく誌のよさを伝えることを大切にコツコツと訴えて増やす方向に話が進んでいきました。あらためて、学童保育にとってどのような運営、あるいは運営者がふさわしいか、県連協の課題として組織拡大とほいく誌購読をセットにして取り組んでいこうと確認しました。

ほいく誌は、学びの場であり仲間をつなぐ場であると感じて

そんなとき、ある学童保育からいまの思いを綴った次のようなメッセージが届きました。

＜市内の16支援の単位の学童保育では、指導員の９割以上がほいく誌を購読し、毎週行っていた常勤指導員会議と、学童保育ごとに指導員全員で行う月１～２回の保育会議で、ほいく誌の読み合わせを行っていました。コロナ禍で研修会の回数が減ったことから『ほいく誌を読むことも研修！』として、購読料の半額補助をしてきました。しかし、今年度から運営者が変わり、それと同時にほいく誌を購読する指導員は３分の１ほどに減ってしまいました。それでも毎月、ほいく誌を手渡すことで、これまで共に学んできた指導員と定期的に話をする機会を持つことができます。

指導員自身も、これまでのような学びの場はなくなってしまったけど、ほいく誌を読むことで、これまで積み重ねてきた学びを継続することができると言ってくれます。運営者が変わっても、「指導員の仕事とは！　学童保育とは！」を問いつづける指導員たちにとってほいく誌は、学びの場であり、仲間をつなぐ場であると感じています＞



現在、県内のほいく誌の購読数は平均1000部を越しています。今年度の県連協の目標1200部を達成するために、ブロックごとにほいく誌の気楽な楽しい読み合わせを展開していこうということになりました。

日本の学童ほいく10月号

特集 異年齢の子どもたちで仲間関係を紡ぐ
――学童保育の生活

今回の特集では、さまざまな年齢や発達の異なる子どもたちが学童保育で共に生活をしている様子と、指導員・保護者の関わりの実践を交流し、子ども一人ひとりが安心して過ごせる生活を営むうえで大切にしたいことをたしかめあいます。

日本の学童ほいく
みんなで読もう目標 3万6000部
子どもを学童保育に通わせる保護者と、子どもたちといっしょに毎日過ごしている指導員が書き手となり、働きながらの子育てを応援し、学童保育の充実の願いをこめてつくられている月刊誌です。

全国学童保育連絡協議会
普及拡大ニュース
2022年9月26日

読者のひろばより

鳥取県鳥取市●保護者から

待ってました!!　おすすめレシピ♪　このコーナーの大ファンです。

子どもと一緒に本を広げて、これつくってみよう、これ食べたいと大興奮!!　わが家の食育に大活躍です。2022年5月号の「おすすめ！　私の“おいも”レシピ♪

Part 2」で紹介されていた「じいちゃんサラダ」をレシピどおりの分量でつくったら、びっくりの量ができて、大笑いでした。

『日本の学童ほいく』2022年10月号「読者のひろば」より

三重県鈴鹿市●保護者から

4年生になった上の子が、「学童やめたいー」とたまに言うことがあります。

「なんで？　なにがあったの？」「遊べる友達が低学年ばっかりー」。たしかに、高学年は数人しか在籍していないので、家と同じで弟や妹がいっぱいいる感じになっています……。

どうしようかと考えていた頃、お迎えに行くと「○○君、○○君（上の子の名前）」と新一年生の子が、上の子のまわりでなにかをせがんでいました。遊んでほしかったようです。

わが子の顔を見るとまんざらでもない感じで、「もう帰るわ～」とクールに帰ってきました。

ありがとう！　新一年生！

『日本の学童ほいく』2022年10月号「読者のひろば」より

私と「ほ・い・く・誌」

読者リレー執筆・今月は群馬県高崎市から
指導員の江原かおるさん

私が指導員になって16年目となりました。学童保育ってどんなところなのかわからないまま、ただ「楽しそう！」という気持ちだけでこの世界に飛び込みました。そんな私に先輩指導員が「読んでみて。指導員として勉強になるよ」と、バックナンバーを10冊ほどくれたことが、私と『日本の学童ほいく』との出会いです。地域の指導員の会などでこの本の感想を話しあうなかで、たくさんの共感をおぼえ、保育のヒントとして本を読むのが楽しみでした。

その後、縁あって『日本の学童ほいく』編集委員としてお手伝いをすることとなりました。ドキドキと緊張しながら編集会議へはじめて参加した私は、衝撃を受けました。参加している各都道府県の編集委員さん、役員・全国連協の職員の皆さんが、学童保育での悩み・素晴らしかったこと、どういう内容が今現在必要なのかなど熱い思いを真剣に話しあう姿に本当に驚いたと同時に、パワーをもらって「よし！　明日も頑張ろう！」という気持ちになりました。編集委員になってこの本がどのように作られているのか知り、記事を書いてくれた方の思いを少しでも受け取れたらと思いながら読んでいます。

全国のたくさんの方の声や思いがつまった『日本の学童ほいく』を読みながら学童保育に携わる方々と支えあっていけたらと思っています。

編集・発行　全国学童保育連絡協議会　〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13　TEL●03-3813-0477　FAX●03-3813-0765
E-mail●zghrk@xui.biglobe.ne.jp　http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou